

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科					
科目名称	マルチメディア演習					授業形態	演習			
科目コード	533210	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	○	
担当教員名	矢野 俊樹							ICT活用	○	
授業概要	<p>画像データとベクターデータの違いを学び、一般的に普及しているGIMPやcanva等のソフトウェアを活用して、チラシとウェブサイトの制作ができる汎用的なスキルを修得する。</p> <p>また、制作の現場で必要となる著作権等の法律についても同時に学ぶ。</p> <p>カフェ、パン屋、ネイルサロンなど、架空の商業店舗の開業を想定して簡易的な事業計画を策定し、その店舗を広告・宣伝するために、カスタマージャーニーマップに対応したマルチメディアの活用方法を修得する。</p> <p>昨今「デザイン」の概念は広がりを見せており、企業経営においても「デザイン経営」といった言葉が用いられるようになってきている。本科目では制作を通じて、そういった広がりを見せる「デザイン」の概念についても実務家教員が解説を行う。</p>									
関連する科目	ウェブデザインⅠ、ウェブデザインⅡ、ウェブデザイン演習、ウェブプログラミング、パソコン基礎演習Ⅱ									
授業の方法と進め方	<p>画像とベクターデータの違いを学び、その後、事業計画の作成に移る。</p> <p>店舗のコンセプトをまとめ、それに従った立地を選択し、店舗名を決定する。</p> <p>月の売上高と原価、利益を算出し、3年間の収支計画を作成する。</p> <p>その店舗を広告宣伝するためのチラシとウェブサイトの制作を行う。余力があれば広告バナーも作成する。</p> <p>紙媒体の制作はcanvaを、ウェブサイトの制作はjimdoを使用する。</p> <p>画像加工についてはGIMPを予定している。</p> <p>ソフトウェアの操作方法については基本的に説明は行わない。自分で調べ、作りたいイメージを形にしていく。</p>									
第1回	第1回 ガイダンスと授業 シラバスの説明と、画像データとベクターデータの違いについて講義を行う。									
第2回	第2回 事業計画の策定① カフェ・パン屋・ネイルサロンのいずれかを自分が開業する設定で、事業計画を策定する。 様式は日本政策金融公庫のものを使用する。									
第3回	第3回 事業計画の策定② Excelを使用して月の売上高と費用を算出し、利益計画を立てる。 3カ年での収支計画を作成する。									
第4回	第4回 事業計画の策定③ ターゲット層や強みなどを整理し、店舗のコンセプトをまとめる。 事業計画書を完成させる。									
第5回	第5回 著作権について/チラシの作成① 著作権について学び、デザインに使用する素材の収集方法の注意点を知る。 canvaを使用して架空の店舗のチラシを作成する。									
第6回	第6回 チラシの作成② canvaを使用して架空の店舗のチラシを作成する。									
第7回	第7回 チラシの作成③ canvaを使用して架空の店舗のチラシを作成する。									
第8回	第8回 チラシの作成④ canvaを使用して架空の店舗のチラシを作成する。 チラシを完成させる。									
第9回	第9回 カスタマージャーニーマップについて/ウェブサイトの制作① カスタマージャーニーマップを学ぶ。 jimdoを活用してウェブサイトを作成する。									
第10回	第10回 ウェブサイトの制作② jimdoを活用してウェブサイトを作成する。									
第11回	第11回 ウェブサイトの制作③ jimdoを活用してウェブサイトを作成する。									
第12回	第12回 ウェブサイトの制作④ jimdoを活用してウェブサイトを作成する。									

第13回	第13回 ウェブサイトの制作⑤ ウェブサイトを完成させる。
第14回	第14回 発表① 個人ごとに作品の発表を行う。 他の学生の発表を聞いてGoogleフォーム通じて講評を行う。
第15回	第15回 発表② 個人ごとに作品の発表を行う。 他の学生の発表を聞いてGoogleフォーム通じて講評を行う。
授業の達成目標	事業計画と資金調達について学び、創業計画書を書くことができる力を身につける。 一般企業内の広告・宣伝・広報の担当者としてA4サイズのチラシとウェブサイトの作成を行うことができるようになる。また、業者へのデザインの発注の際に専門用語が理解でき、デザインのトーンやレイアウトについても的確な指示ができるような知識を身につける。【汎用的技能】 ウェブサイト制作の際のパーツ作りができるようになる。簡易的なウェブサイトをノーコードで作成できるようになる。【汎用的技能】
学修成果との関連	2.自分の言葉で表現できる能力を有する。
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 指定の資料等を読んでおくこと。(30分)
授業時間外学【復習】	〈復習〉 授業内で作成が終わらなかった場合は課題とする。(1時間)
課題に対するフィードバック	授業中の様子や制作の途中経過の傾向により、理解が足りない点について授業中に重点的に解説を行う。 最終課題については講評を行う。
評価方法・基準	課題の提出率及び内容：60% 授業での態度と貢献度：20% 最終課題の出来栄え：20% (ただし最終プレゼンを行わない者は単位を与えない)
テキスト	別途指示
参考書	別途指示
備考	欠席をした者は翌授業までに担当教員の研究室に配布物等を受け取りに来ること。